

くろがたは

第34号 (2010年 秋号)

● 松江赤十字病院広報誌

病院理念

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

表1

糖尿病地域連携パス スケジュール表	
かかりつけ医	病院
通院日	年 月 日
通院月	日
月/日	
目標	合併症の発症と進展を防ぐ HbA1c6.5%未満を維持する
診察 測定	毎月1回診察、体重測定、血圧測定
検査	毎月1回尿検査、血液検査
検査	眼科受診 (眼底検査) *受診場所は眼科医の指示に従って
指導	歯科受診 (口腔ケア) *受診場所は歯科医の指示に従って
学習	*教育病棟の糖尿病教室等に参加して 糖尿病の勉強を続けてください。
病院	退院1ヶ月・6ヶ月・12ヶ月・18ヶ月・24ヶ月後に 教育病棟の糖尿病外来を受診

*かかりつけ医館を受診される時に、検査結果を
糖尿病連携パス手帳に記載してもらい、病院を
受診される時に持参してください。

当科では平成13年から病院完結型から地域完結型医療への転換を積極的に図ってきました。そのため、当科で指導・治療させていただいて、良好な状態となった患者さんは、地域の先生といっしょに診させていただくようになっています。紹介後半年毎に当科も受診していただき

安心の連携システム
糖尿病・内分泌内科 佐藤 利昭

+
松江赤十字病院
『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただくことが必要です。」

このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。

きますが、1年以上安定した状態が続いている患者さんは、かかりつけ医の先生に一本化して診ていただいています。これまで3000名を超える患者さんをかかりつけ医の先生にご紹介させていただき、現在、当科を半年から1年毎に受診しておられる患者さんは500名程となっております。

これまで、病診連携

で糖尿病の患者を診ていく上での、地域での取り決めは特にありませんでしたので、患者さんの中には、かかりつけ医の先生へ紹介となつて不安を感じられた方もおられたのではないかと思います。これから、更に地域連携での糖尿病診療を円滑に進めるため、糖尿病地域共通連携パスが作られました。パスとは一連の診療計画を分かりやすく示した物で、患者さんから見れば、診療の流れが分かるスケジュール表であり(表1)、医療者から見れば、診療に漏れがないように確認できるチェックシートとしての機能を備えた物です(表2)。

今回作成された連携パスは、教育入院後の2年間を病院とかかりつけ医の先生でいっしょに診ていくための物ですが、将来的には、病院の指導・加療で良

くなるってかかりつけ医に紹介になるすべての患者さんに適応を広がっていきたくと考えています。作成段階から、眼科医会、歯科医師会、薬剤師会にも加わっていたり、地域全体で糖尿病を診て行くことの機運が盛り上がっています。

この連携パスには、松江圏域で糖尿病の教育入院を実施して

退院後	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月
年月日	合併症の発症と進展を防ぐ HbA1c6.5%未満		合併症の発症と進展を防ぐ HbA1c6.5%未満			
アウトカム						
診察測定	<input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 体重 <input type="checkbox"/> 血圧	<input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 体重 <input type="checkbox"/> 血圧	<input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 体重 <input type="checkbox"/> 血圧	<input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 体重 <input type="checkbox"/> 血圧	<input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 体重 <input type="checkbox"/> 血圧	<input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 体重 <input type="checkbox"/> 血圧
検査	<input type="checkbox"/> 眼科受診 (眼底検査) 受診場所は眼科医の指示に従って		<input type="checkbox"/> 眼科受診 (眼底検査) 受診場所は眼科医の指示に従って 目安 (頻度なし・年1回、単眼・6ヶ月に1回、前連検・頻回) 血糖コントロールが悪ければ受診間隔は短くなります。			
指導	<input type="checkbox"/> 歯科受診 (初回受診は退院後1ヶ月以内) 受診場所は歯科医の指示に従って		<input type="checkbox"/> 歯科受診 受診場所は歯科医の指示に従って			
評価	<input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 栄養 <input type="checkbox"/> 運動 <input type="checkbox"/> 合併症 <input type="checkbox"/> フットケア		<input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 栄養 <input type="checkbox"/> 運動 <input type="checkbox"/> 合併症 <input type="checkbox"/> フットケア			
評価	<input type="checkbox"/> 外来糖尿病教室 (月 日) <input type="checkbox"/> 糖尿病外来 (1ヶ月後)		<input type="checkbox"/> 外来糖尿病教室 (月 日) <input type="checkbox"/> 糖尿病外来 (6ヶ月後) <input type="checkbox"/> 腎症 (尿中アルブミン、蛋白の評価)			

表2

● 糖尿病連携パス手帳の医師のチェックページ

病棟紹介 10階リハビリテーションセンター

私たち10階リハビリテーションセンターは1フロアーに病棟とリハビリ科の訓練室があります。毎日の朝礼には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、看護師が集まり患者さまの状態を確認し、それから業務を行います。看護師が業務を行う中ですぐに相談でき、リハビリの途中で体調が悪くなった患者さまにもすぐに

には地域との連携も密にとれるように努力しています。「ADL回復のためには可能なことは自分で行う」これが基本ですが、回復途中



対応できる、そんな身近な距離でよいチームワークをとりながら業務を行っています。

入院患者さまは急性期治療を終え、リハビリテーションを行うために当病棟に転入してこられます。脳卒中、整形



外科疾患が多いのですが、なかには筋力低下の回復のため消化器手術後や在宅酸素導入などその疾患は多岐にわたっています。そんな中で私たちは、患者さまやご家族の思いやご希望を大切に、安心して入院生活を送れるように心がけています。また、退院後のQOLが向上するように医師、リハビリスタッフ、ケースワーカーと共に考え、さら

いることですが、そんな中で患者さまのADLが向上していくことを喜びに思っています。そして退院した患者さまが外来受診の時に元気な顔を見せてくれることが何よりもうれしいことです。患者さまの笑顔が見られるようチームワークを大事にし、心の通った看護の提供ができるように頑張っていこうと思えます。

では転倒、転落という危険があります。たとえば「麻痺がある」あるいは「筋力の弱っている」方が一人で動くことはとても危険です。私たちは患者さまの認知、行動パターンやリハビリの状況から危険を予測し、患者さまの行動を早期に察知し見守る、転んでも大事に至らない環境づくりをめざしています。とても根気の

ピンクリボン運動 IN 松江水燈路参加

乳がん看護認定看護師 林 美幸

皆さんは、ピンクリボン運動を知っていますか？乳がんを娘を亡くした母親が、娘の愛娘である孫に娘と同じ思いをさせたくないという思いを込めてピンクのリボンを渡したのが始まりと言われています。



当院の乳腺チームによるピンクリボン運動も今年で3年目となりました。多くの方に乳がん検診の大切さを知っていただきたくて、今回は、人が多く集まる場所に向けて活動をすることにしました。10月11日、城山の馬だまりにおいてピンクリボン運動を開催しました。乳腺外科外来やがんサロンの患者の方に協力依頼をし、乳がん検診の大切さや自分たちの思いを燈路に書いていただきました。



患者さんの思いが詰まったピンク色の燈路をイベント会場に並べ、18時半スタート。お天気に恵まれたのに城山周囲自体に人がまばらで心配しました。しかし、ステージが始まると、おがっちさんのおしゃべりに引き寄せられるかのように沢

山の方が参加していただきました。約300人の方が来てくださったと聞いています。「ここのは」のコンサートの合間に40人近くの方が私たちのブースに来てくださり、自己検診の方法を紹介することが出来ました。ステーションから乳腺チームの足立えみさん、松本好永さんにピンクリボン運動の由来や私たちの活動を紹介します。

10月は、ピンクリボン運動月間です。乳がんは罹患した芸能人の報道もあり、全国的にも知られてきました。その反面、誤った情報も流れ不必要に不安が乳がん検診を受けない方も多いように感じます。毎年各地で様々な運動が繰り広げられます。皆さんも機会があれば是非参加してみてください。



ら、お天気に恵まれたのに城山周囲自体に人がまばらで心配しました。しかし、ステージが始まると、おがっちさんのおしゃべりに引き寄せられるかのように沢

ら、お天気に恵まれたのに城山周囲自体に人がまばらで心配しました。しかし、ステージが始まると、おがっちさんのおしゃべりに引き寄せられるかのように沢



8~10月 introduce



採用医師紹介

Hello Doctors



小児科 平出 智裕

美しく歴史ある松江で、そして新しくなった病院で働く機会に恵まれ嬉しく思います。いつでも笑みを絶やさず、たくさんの子供の笑顔を見られるように頑張りますので、よろしくお願い致します。



整形外科 真子 卓也

10月から赴任してきました。松江市勤務ははじめてであり、不慣れなことがあるかとは思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



麻酔科 森 英明

10月から麻酔科採用となりました。森英明と申します。患者さんと他科の先生方から安心して麻酔を任せていただけるよう頑張ります。

高層棟 個室のご利用案内

- ・プライバシーが保たれ、落ち着いて療養していただけます。
- ・面会者の方と、お部屋の中でゆっくりお話ししていただけます。
- ・テレビ・冷蔵庫は **無料** でご利用いただけます。



特別個室



個室A

ご案内窓口

ご入院前………各科の外来看護師

ご入院中………スタッフステーション



- ・ご利用の方は料金表をご確認のうえ、同意書に署名をお願いいたします。
- ・治療上個室が必要な他の患者さまを優先させていただくことがありますので、ご了承ください。



個室B



準個室

～個室料金一覧表～（1日につき）※1

個室タイプ	特別個室 (11階のみ)	個室A	個室B	個室C (6階のみ)	準個室※2
料 金	21,000円	7,350円	6,300円	5,250円	1,575円
テレビ (無料)	○	○	○	○	○
冷蔵庫 (無料)	○	○	○	○	○
インターネット (無料)	○	○	○	○	—
シャワー	○	○	—	—	—
トイレ	○	○	○	○	—
洗面台	○	○	○	○	—
家具	○	○	○	○	○
キッチン・応接セット・和室	○	—	—	—	—

※1. 個室料は **0時から24時** までを「1日分として」算定します。

(例) 一泊された場合：2日分の料金となります。

※2. 準個室とは、4床室をベッドごとに家具で仕切ったお部屋です。

生まれたばかりの赤ちゃんが初めて袖を通す産着。従来は白一色のものを使っていたのですが、高層棟がオープンしたのを機に産着を新しくしました。

生まれてきた赤ちゃんがすこやかに、無事に育ちますようにとの願いを込めた、この新しい産着。出産されたお母さん方からは、かわいらしいと大変好評です。ぜひ当院で出産していただき、赤ちゃんに着せてあげてください。

(※NICUは除きます。)



産着が新しく なりました



「松江日赤ブログ」始めました

9月より、松江赤十字病院のブログを立ち上げました。これは読者に地域の基幹病院、すなわち急性期病院である当院の現状を知ってもらいたいという考えからです。内容は国の医療政策への考え方、島根県や松江市の医療情勢の話から、病院経営や病院で困っていること、病棟で起こった悲しいこと、楽しいこと、教育研修や福利厚生、あるいはマスコミをにぎわす今はやりの話題等々…。

書き手は一人に限ることなく、病院内の全職種に書いてもらおうと思っておりますので、堅苦しい話ばかりにはならず、楽しい話題もぎゅとたくさん出てくるに違いありません。読者の方にとつて、病院というのはなんとこんなことになっているのかなどといった驚きも感じられるようなものもお伝えできたらと思っています。

新聞や他のマスコミの報道とは違った、松江赤十字病院の日常の一コマを提供したいと考えています。気が向いた時に、暇な時の時間つぶしに(気軽に、是非続けて)見ていただきたいと思います。

松江日赤ブログ 検索

松江日赤病院公式ブログです

松江赤十字病院

松江日赤ブログ

検索

QRコード

無料チャンネル

「入院中のご案内」をぜひご覧ください

病室のテレビで13チャンネルアナログにすると「入院中のご案内」が無料放映されているのを皆さんご存じですか?平成16年から放映してきましたが、このたびの高層棟オープンにもない内容を一新しました。入院中の一日、病室周りや院内各施設の紹介など、入院患者さまにぜひ知っておいていただきたい内容が盛りだくさんです。入院されたらまずテレビをつけて13チャンネル「入院中のご案内」をぜひご覧ください。



110番非常通報装置配備

—安心・安全な環境で診療を—

救急外来をもつ病院は、24時間オンであり、防犯対策として出入りを規制することは難しい現状です。

—ある夜の救急外来。救急車到着に併せ処置中の重症患者等で看護師はてんてこ舞い。そこに1人の患者がカウンター越しに「いつまで待たせるんか!」と大声で怒鳴り、椅子を蹴る。受付事務、看護師はおろろするばかり。警備員が駆けつけて対応するが、少々アルコールが入っているのか益々大きくなり怒鳴り散らしている。

—このような事態がスタッフの少ない夜間(深夜)の救急外来で起こった場合、他患者さんの診療の妨げになることは勿論、当直医師を含め、職員にとつては怖い思いとなつて大きなストレスになります。こうした状況にいち早く対処するため、救急外来と保安業務室に県内の病院では初めてである「110番非常通報装置」を設置しました。これは、非常通報ボタンを押すと



県警本部110番指令室に非常事態を知らせ、警察官が来院する仕組みになっています。事例としては、まだ少ないですがこの非常通報装置により、スタッフの心理的負担が軽減し、安心して診療ができることと思います。

(総務課)

料理の世界

「サケ」それとも「シヤケ」?

栄養課調理師 奥野 将徳

秋の味を代表する魚「サケ」、特においしいのは、9月から12月の産卵期に河川に戻る秋鮭や秋味と呼ばれるもので、



産卵前の秋の鮭は大きくて、脂の乗りも上々です。銀鮭は、皮がおいしい銀色で、ハラスが黄色く変色していないもの、紅鮭は、身が朱色のものを選ぶべし間違いないでしょう。

脂のつた鮭はEPA、DHAが豊富で、血栓症や動脈硬化を予防します。また、鮭のたんぱく質は吸収率が高く、ビタミンDが含まれているので、乳製品と一緒に料理すればカルシウムの吸収率も高まります。



呼び名として「サケ」、それとも「シヤケ」はどちらなのかと思いませんか?生の状態をサケ、食品加工したものをシヤケだという見解がある一方で、酒の肴として親しまれたことから「シヤケ」とか、江戸時代の江戸では「さしすせそ」の発音が苦手だったため、なまって「シヤケ」になったという説などいろいろあり、おもしろいものです。

頭からしっぽまで、どこをとつても栄養満点。捨てる部分の無い優等生に秋の味を感じて頂けるのではないのでしょうか。

